

第2回「朗読を楽しむ」アンケートより

アンケートの回答者は約29名です。項目によっては複数回答もあります。

大変良かった、良かった、を合わせると29名で、100%になります。好評だったことは素直にありがたく受け止めたいと思いますが、回答されなかった人たちの感想は不明ですから、その点も考慮する必要があります。いずれにしても、限られた時間で書いてくださった人たちの感想は、その人の感想や批評の一端にしか過ぎませんが、謙虚に耳を傾ければ無言の声もたくさん聞き取ることができます。そのつもりで参考にし、今後に生かしたいものです。

1. 回答者は男性14人、女性15人。30代1名、40代3名、50代5名、60代11名、70代8名、80代1名でした。(高校の文芸部に案内し準看護学校でも全員にチラシを渡してPRしましたが、いつものことながら若い人たちは足を運んでくれませんか。)
2. 何人で誰とこられましたか。知人と16名 家族と7名 1人で8名(何人で来たかという問いに対して、2, 3人が多かった。)
3. この会のことはどこから知られましたか。ポスター3名 チラシ5名 新聞2名 テレビ3名 知人12名 出演者9名 その他1名 有線1名(複数回答です。)
4. 来られた理由は何ですか。詩・朗読に興味がある18名 茨木のり子のファンだから2名 知人が出演する8名 何となく1名 その他1名
5. 劇研空のことをご存知ですか
公演を見たことがある16名 見たことはないが知っている4名 知らなかった6名
6. 会の感想をお願いします。大変良かった16名 良かった9名 どちらでもない0名 悪かった0名 大変悪かった0名

次のような感想がありました。99%そのまま掲載します。(1%は語句を若干変えて掲載しました。)

- “朗読”っていいものですね。ありがとうございました(40代)
- 解説が適切につけられて、分からぬ人の理解を助けたと思う。読み聞かせはいまひとつ。過剰な大声が気になった。詩吟など意義深い出演でした。(70代)
- よい緊張感があり、ステージで読むというのは気持ちのいいものですね。劇研空の方々の朗読には感動しました。長い詩でしたが解説があったので最後まで飽き

ずに聞くことができました。(50代)

- 第1部の司会者のコメントは多すぎるのでは？朗読という芸は、その朗読によって、解説で言われたものを感じ取らせることでは？一つの試みとして劉連仁の詩の場合、せっかく演技者がいるのだから、朗読者とパントマイムをする人をつくってみたらどうでしょう。動きがないと長時間もたないのでは？プロジェクターによる投影はよかった。(朗読者の背後ではなく、平行した位置に投影できたらおもしろいかもしれない)(70代)
- 初めて公演を見させていただきました。朗読がこんなに楽しいとは思いませんでした。また来たいと思います。一度この楽しさを知ると、多分、人が集まるのではないかと思いました。もっともっと人が集まって欲しいです。今後も活動を楽しみにしています。(30代)
- 初めてです。朗読をすることもありますので勉強になりました。また次の機会にも参加したいと思います。(60代)
- 多様な(1人で、2人で、3人でなど)詩の発表の仕方で、興味深く聞かせてもらいました。やはり間の取り方、かぶせ方がうまいなと思いました。劉連仁のことは初めて知りました。(60代)
- とても良かった。感激しました。若い日を思い出しました。(80代)
- 初めての出演でしたが、ライトやマイクの設定など大変お世話になりました。これからも楽しんでいきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。(60代)
- すべて感動した。内容が考えさせられることばかりでした。「百人の棺」は平和憲法が変えられようとしているこのとき、男性群の力をこれから大いに市民に広めて、伝えてほしいと思います。(60代)
- 戦中のことを理解できる私達には感動々々でした。高齢になられた戦争体験者ができるだけ体験を語り継いでいって欲しい。もっともっと多くの人へ伝えたい。少なくて残念でした。(70代)
- 茨木のり子の生き方が好きです。原爆は大田駅で当時体験しています。女学生(2年)でした。(70代)
- 初めてこのような会に参加させて頂いて大変良かったと思います。今後朗読するようなことがあれば、今日の勉強したいと思います。(50代)
- 朗読で涙が出た。(60代)
- 第1部「戦争で死んだ兵士のこと」の朗読に感動しました。大田と広島の前爆との関わりについても初めて知りました。第2部「とても良い朗読でした。Mさんのイントネーションがどこかの方言のようで意味を取り違えそうで気になりました。
- 絵本や詩のバックの映像はとても良かったと思います。空のメンバーの人たちは

さすがすごかったです。

- 参加できて本当によかったです。参加できた自分自身が得るものの方が多かったように思います。吟詠の皆さん… ころりんの皆さん… 空のメンバー… 地方で文化や芸術を愛し守っていくというのはこういうことなのだと思います。私もお寺のことや子育てや日々いろいろバタバタしていますが、何か協力できることがあったらいつでも声をかけて下さい。都会とは違い、今からは大変な時代になるかも知れませんが、続けていくことでしか為し得ないものがあると思うし、空のみなさんがやっていることは、正しくそういうことだと思います。

あの朗読会自体が私にも私の旦那さんにも元気をくれました！次は銀山がテーマですね。確かに…世界遺産を目前にして一番光るテーマだと思います！どうかお疲れが出ませんよう…体を大事になさって、また次の公演を目指してください。ありがとうございました。(Wさんから来たメールから転載させていただきました。)

★この度は「朗読を楽しむ」会にお誘いいただきありがとうございました。日頃は、子ども達の前で気楽に読み聞かせなどしていますが、本格的な舞台の上での朗読は、はじめてでしたので、少々緊張もいたしました。立派な舞台、リハーサルでのマイクや立ち位置の確認など、日頃体験できないこと満載で、そういったことを体験させていただいただけでも、感動でした。

★また、この度の朗読会で、改めて茨木のり子さんの詩をじっくり味わいました。凜とした感じが伝わってきました。また、劇研の人たちが、それぞれの個性で朗読や群読されるのを聞くにつけ、長い詩でしたが、人となりかにしみ出てきて、とても楽しむことができました。前に、洲浜先生から「言葉には色がある」ということを聞き印象に残っていましたが、本当にそうですね。(仁摩町お話ころりんの竹下さんから、空の掲示板へ送られてきた文章を転載させていただきました)

その他では市民会館のスタッフから、開場準備の規模主催団体の動員努力がわかりやすくなり事業継続の意義が明確になるので、目標動員人数をもう少し明確にした方がいい、という指摘と同時に、ステージ作りの参加人数について要望がありました。

これは全く弁解の余地がない指摘です。ぼく自身が観客集めのために何をしたか、と問われれば言葉がありません。チラシを配ったり、ポスターを貼ったり、集会で話したりはしましたが、このくらいのことで人が集まると思えば天国です。やっぱり一人一人に当たらないと来てもらえません。

朗読で500円の前売り券を売ることに抵抗があったのと、参加者を増やすことで同時に観客数の増加を考え、整理券や前売り券を発行しなかったのも、ある意味での挑戦でし

たが、やっぱり必要でしたね。空のメンバーに前売り券を割り当て、販売する精神的な負担をなくしたい、などと考えるのはやっぱり邪道でした。前売り券販売は正面から積極的に取り組まないといけません。本当は企画係や販売担当者や販売協力者がいれば最高なのですが…それは夢のまた夢です。

舞台の準備については、空の現状では参加できる人数に限られます。人数が少ない上に、今回は土曜日の午後の勤務のメンバーもいましたし、パンフレット作成も同時進行で進めなければいけなかったのが3人しか準備に参加出来ませんでした。弱小集団にとっては今後も大きな課題です。

朗読で音響を使いたいと思っていましたが、担当する者がいなくてほとんどできませんでした。台本を読みながら音響や音楽や映像や装置などを考えてくれる担当者がいればどんなにうれしいことか。

良かった点は、吟詠で正道流朝山支部のみなさんと仁摩のお話ころりんの皆さんに参加していただいたことです。また茨木のり子の500行にも渡る長編詩「りゅりえんれんの物語」を3人で群読し感動して聞いていただいたこと、また短編詩などの朗読も好評だったことです。あの長編詩を退屈せずに最後まで聞いてもらうのは簡単なことではありません。田中さんの演出で、何十回と練習した甲斐があったということです。

ある程度、詩の背景が分かった方が初めての人にはいいだろうと考えて、短編詩にも司会者の田中さんに簡単な解説をつけて読んでもらったのですが、ある詩人から解説は不要だという批判をいただきました。茨木のり子の詩を読んだことがない人のことを考えて解説をつけたのですが、押しつけになったかも知れません。どんな想像や感想を持つかは観客の自由 — そういう姿勢が大切でした。

次回は石見銀山に関する朗読をやりませんか、と会館の人に言われました。ぼく自身もそういう考えがあったので、やりましょう、と返事をしておきました。文語ですが「銀山旧記」の朗読は以前から面白いのではないかと考えています。昔の文章はとともリズムがあり、語調もあって朗読に適しています。資料を読んで、創作台本なども書いてみたいと思っています。いい資料やアイデアがあれば教えてください。(洲浜)